

2026 年 10 月 5 日

報道関係者各位

福井コンピュータ株式会社

トレンドワン マーキュリーワン 測量 CAD システム「TREND-ONE／Mercury-ONE」の新オプション 「LidarSLAM成果作成支援」を 2026 年 10 月 20 日（火）リリース

福井コンピュータ株式会社（本社：福井県坂井市、代表者：代表取締役 COO 杉田 直）は、測量 CAD システム「TREND-ONE／Mercury-ONE」の新オプションプログラムとして、「LidarSLAM[※]成果作成支援」を 2026 年 10 月 20 日（火）にリリースいたします。

※Light Detection And Ranging Simultaneous Localization And Mapping の略で、周囲をレーザーでスキャンしながら、自己位置と周囲の距離を計測すると同時に、周囲の地図を作る技術を搭載したハンディ型レーザーキャナ。

【背景】

2022 年 6 月に国土地理院より「LidarSLAM 技術を用いた公共測量マニュアル」が公開されて以降、同マニュアルは順次改定が重ねられ、2026 年 3 月には GNSS による観測も対象に加わるなど、公共測量における LidarSLAM 活用の制度整備が着実に進んでいます。

こうした制度面の整備と歩調を合わせて、市場における LidarSLAM の普及が加速しています。近年は GNSS との一体型モデルや 3DGS アルゴリズムを融合した機種が登場し、センチメートル級の精度担保と低コストの両立が実現しつつあることから、今後さらなる普及拡大が見込まれます。

しかしながら、公共測量で LidarSLAM を運用するには、精度管理表をはじめとする様々な資料作りが必要となってくため、こういった成果物作成の負担を支援する新たなオプションプログラムを開発し、提供する運びとなりました。

【本オプションによって見込める効果】

経営視点では、本オプションの活用により、LidarSLAM 機器を単なる「現場確認ツール」から、「公共案件での活用により利益を生むツール」へと転換できます。また、公共測量での運用が可能になることで機器導入コストの早期回収が実現し、技術提案時の強力な差別化要因にもなります。

他方、実務者視点では、「LidarSLAM での進捗確認」と「従来型機器（TS 等）での納品用再測量」という、現場で生じがちな二度手間を解消します。また、歩行計測によるデータをそのまま公共測量の納品基準へ適合させられるため、若手技術者でも高精度な品質管理が可能となり、業務の属人化解消にもつながります。

【リリース日】 2026 年 10 月 20 日（火）

【オプション価格】 12 万円（税別） ※オプションプログラム単体では動作しません。詳しくはお問い合わせください。



● LidarSLAM 成果作成支援

【本件に関するお問合せ】 福井コンピュータ株式会社 事業本部 営業部 営業推進課

福井県坂井市丸岡町磯部福庄 5-6 HP : <https://const.fukuicompu.co.jp/>

Tel : 0776-67-8860 お問い合わせフォーム : <https://hd.fukuicompu.co.jp/contact/general.php>